



## フィラデルフィアの心「ロッキー・バルボア」

私の出身であるフィラデルフィアには、米憲法、自由の鐘、独立宣言など有名なものがいっぱいありますが、おそらく一番有名なのは美術館前庭の隣に誇らしげに飾られている「ロッキー・バルボア」の像です。「ロッキー・バルボア」とは1976年アメリカ映画「ロッキー」の主人公で、フィラデルフィアで暮らす子どもの頃からボクシングに興味があり、大人になってプロボクサーになります。ロッキーは、30歳になっても三流のボクサーで、それ以外の仕事を見つけれない下層階級の人で、ボクシングの試合にお金を賭けるだけの生活をしていました。でもある日、地元でヘビー級エキシビションマッチが行われることになり、世界チャンピオンであるアポロ・クレードの対戦相手に指名されたロッキーは、自身の価値を証明する貴重な機会に恵まれました。そこで、ロッキーは友人でもあるコーチのミッキーと一緒にハードトレーニングを始めます。実は、アポロはロッキーの貧乏な生活状況について何も知らずに、ロッキーのニックネームである「イタリアの種馬」が面白いという理由で彼を指名し、ロッキーという無名のボクサーを簡単に倒せると思っていた。ネタバレになるとは思いますが、最後ロッキーは判定で負けてしまいます。しかし、強い対抗にもかかわらず、最終ラウンドまで世界チャンピオンとの見事な戦いができました。

映画「ロッキー」は、ボクシング映画以上に、フィラデルフィアの人種と経済の多様性を表す作品としても見られ、フィラデルフィアの心強い魂を代表する映画だと思えます。フィラデルフィアへの根深い影響は市内の色々なところで見られます。例えば「ロッキー・ステップ」、いわゆるフィラデルフィア美術館前の階段を駆け上がるシーンの影響として、毎日多くの人々がロッキーのように駆け上がる光景が見られます。また、ロッキーは試合で勝てませんでしたが、「もし最終15ラウンドまでリングの上に立っていられたら、自分がただのゴロツキではないことが証明できる」というロッキーの言葉があります。ロッキーに学ぶ教訓は何よりも「頑張れば勝ち目のない人でも勝てる」ということであり、このメッセージは何よりもフィラデルフィアの心を示すと思えます。

## The Heart of Philadelphia: Rocky Balboa

My hometown of Philadelphia is famous for many things including the U.S. Constitution, the Liberty Bell and the Declaration of Independence. However, arguably more famous than anything else in Philadelphia is the statue of Rocky Balboa that humbly stands next to the front stairs of the Philadelphia Art Museum.

Rock Balboa is the protagonist of the 1976 movie, "Rocky". From the time Rocky was a kid, he boxed, and so when he grew up he became a professional boxer. But by the time he was 30 he was still only a third rate fighter. With no other prospects for jobs, Rocky was down and out of luck, betting on boxing matches for money. However, Rocky is endowed with a rare chance to prove his worth when the heavyweight champion of the world, Apollo Creed, selects Rocky Balboa to be his opponent in a heavyweight exhibition match in Philadelphia. It is then that Rocky begins hard training with his friend and coach Mickey in order to prepare for the match. Apollo Creed however, thinks that he will be able to deal with this no name boxer easily, choosing Rocky as his opponent only because he liked his nickname, "The Italian Stallion". If you haven't seen the movie, this will probably be a spoiler! In the end, Rocky loses the fight by split decision. But even against unbeatable odds, Rocky fought his heart out against the champion of the world, and he made it all the way to the last bell.

Rocky is much more than just a boxing movie; it shows the racial and social class diversity of Philadelphia and represents the tough and durable soul of the city. I think that you can see the influence that Rocky has had on Philadelphia in a number of places, but nowhere is probably more famous than the "Rocky Steps". Every day, hundreds of people run up the front stairs of the Philadelphia Art Museum and raise their hands in celebration at the top, just like Rocky did in that famous scene.

In Rocky's own words, "...it really don't matter if I lose this fight. Nobody's ever gone the distance with Creed, and if I can go that distance, you see, and that bell rings and I'm still standin', I'm gonna know for the first time in my life, see, that I weren't just another bum..." It might be a cliché, but the most important message in Rocky is that even if all the odds are stacked against you, if you work hard enough you can still win, and in that way, I think Rocky represents the heart of Philadelphia.



たまよせ くるみ 玉代勢 来実ちゃん(0歳) 伊祖在



さんしょう としき 金城 寿紀ちゃん(0歳) 城間在



やまかわ はるゆき 山川 暖幸ちゃん(0歳) 大平在

### 「てだっ子STUDIO」写真募集

●日頃の子どもの写真を郵送または画像データをメールで毎月月末までに送付してください。窓口へ直接提出も可。集合写真は不可。  
※被写体の子どもの氏名(ふりがな)・年齢(0か月,1歳など)・居住地区(安波茶・伊祖など)一言コメントの記入を忘れずに!

〒901-2501 浦添市安波茶1-1-1  
浦添市役所 国際交流課  
☎(876) 1234(内線2613・2614)  
E-mail:kokusai@city.urasoe.lg.jp

## ハイサイ! こちら市長室!

### 待機児童0を目指して

先月、厚生労働省から全国の待機児童に関する集計結果が発表となり、県内新聞紙上でも大きく報道されました。沖縄県は待機児童総数が東京都に次いで全国2番目となつています。県内では、那覇市、沖縄市に次いで、私たちの浦添市が231人と県内3番目に待機児童が多い市となつてしまいました。

私は市長に就任以来、待機児童0を目指して施設整備などの政策を実践し、これまでの3年間で増設策4件、分園4件、認可化移行1件、小規模保育事業所8件、事業所内保育事業所1件の整備などで合計667人の認可保育園等の定数を増やして待機児童の解消に努めてきました。しかし利用申込者も急増しているのが実情で、結果的に待機児童数は昨年(平成

27年)157人から今年(平成28年)は231人と逆に増えてしまいました。何故、待機児童は増え続けるのか? 待機児童増加の原因である利用申込者急増の理由として考えられることは、働く女性が増えたことや、昨今の待機児童対策への期待感、これまでは諦めていた認可施設利用への認識が変わったことなどが考えられます。保育の受け皿を増やしても、待機児童が増える現象は、待機児童0を達成した横浜市などにも見られた全国的な特徴でもありません。しかし、現実に子どもを預けることができずに困っているご家庭がある以上、私たち浦添市も真摯に効果的な対策を講じなければなりません。そこで浦添市では、さまざまな施策を組み合わせた「てだこのまち子育て応援総合アクション5(ファイブ)」なる取り組みを始めています。これは、これまでの施設整備のみに頼るのではなく、認可外保育施設への助成を増やしたり、保育士の育成や確保対策も行うほか、保育所だけでなく、公立幼稚園の運営についてもさらに充実してまいります。例えば、幼稚園への給食導入、認定こども園への移行、そして、3歳から5歳の3年保育を確立していきます。私自身としては公立幼稚園の3年保育の実現が待機児童解消への大きなカギとなるのではないかと考え、現在2カ所の幼稚園(浦添幼稚園・牧港幼稚園)で来年度から実施すべく準備をしているところです。今後とも本市の待機児童問題解消に向けた取り組みにご理解とご協力をお願いします。



浦添市長 松本哲治

## 文化課発信 うあむー ありんくりん 第18回

### ～ 『ぶらり浦添』をご存知ですか? ～

『ぶらり浦添』は、浦添の歴史・文化的なスポットをぶらぶら歩く時に持ち歩きに便利なガイドブックです。今回はこの『ぶらり浦添』をご紹介します。

浦添は琉球王国発祥の地ともいわれ、首里城が築かれる前は浦添に都があったといわれています。現在でも浦添には、わき道に入るとたくさんの歴史・文化的スポットが残っていますが、「車で近くを通っていたけど全然気がつかなかった」という声をよく聞きます。ぜひ、『ぶらり浦添』を手にも浦添をぶらぶら歩いてみてください。きっと新たな魅力が見つかりますよ。

また、この『ぶらり浦添』ですが、外国人向けの英語版も作成しました。浦添市には沖縄国際センター(JICA 沖縄)があり、外国からも多くの研修生がいらっやいます。そして今月開催される第6回世界のウチナーンチュ大会(10月26日～30日)に際し外国からたくさんの方が訪れます。ぜひ、友人や知り合いに浦添を紹介する際にご利用ください。

日本語・英語版は、浦添グスク・ようどれ館(☎(874) 9345)や浦添市教育委員会文化課で配布しています(1人1部まで)。浦添市ホームページからデータのダウンロードもできますので、こちらでもご利用ください。



問い合わせ 文化課 内線6214・6217